

めざす子ども像

ふるさとでの学びを誇りに

たくましく未来を切り拓く 都祁の子

取組目標

学校園が積極的に地域に出て地域の方々と交流し、連携・協働していくような取組の開発と充実。地域・保護者・各種団体の参画への働きかけ。

【今年度の取組紹介】

現在、全国的に高齢化が進んでいることに加え、特に中山間地域においては、日常生活やコミュニティの維持が問題となっており、奈良市東部に位置する都祁中学校区（都祁地域）においても、ここ数年来、前述の課題が顕在化してきたことから、これらの解決に向け、日々の教育活動を地域からの協力・支援を得ながら進めてきました。

中学校が地域と関わり交流し連携・協働する取組として、「数学講座」「英検対策講座」「雅楽鑑賞」「エイサー学習」「世界遺産学習」「防災学習」「共同美化作業」を行っています。

「世界遺産学習」では、地域ボランティアのご指導を受け、奈良公園での散策をしながら、自分たちの郷土に誇りをもつことにつながりました。「防災学習」では、地域防災の視点から「防災マニュアル」改訂に関わるなど、万一の災害発生時に備えること大切さについて学ぶことができました。

共同美化作業では、校内外の美化に多くの地域の方が協力をしてくださいました。



世界遺産学習



共同美化作業

【今年度のまとめ】

今年度も感染症対策を十分にとった中での教育活動となり、協議会活動にもさまざまな制限が設けられることとなりました。そのような状況下においても、コーディネーターや委員の方々を中心として、地域の方々からのご協力を得て各事業をすすめることができました。

また中学校区内のこども園・小学校・中学校とも機会を精選しつつも効率的に連携・交流を深めることができ、学びの連続性を踏まえた教育活動を行うことができました。

学校環境整備事業において「共同美化作業」を実施しました。草刈り作業や校内の補修に多くの地域の方にご協力をいただき、昨年度よりも校内美化に努めることができました。

【来年度に向けて】

新型コロナウイルス感染症に関しては、未だ、収束の兆しを見せていませんが、今後に向けては、新しい生活様式に基づきながら、オンライン等を活用した園児・児童・生徒や地域と教職員の交流などを取り入れながら、効果的に事業を行えるよう事業計画の検討をすすめていきたいと考えます。

めざす子ども像

ふるさとでの学びを誇りに

たくましく未来を切り拓く 都祁の子

取組目標

中学校が積極的に地域に出て地域の方々と交流し、連携・協働していくような取組の開発と充実。地域・保護者・各種団体の参画への働きかけ。

【今年度の取組紹介】

1. 防災教育への取組

「生きる力」を育むことを目的とし、防災教育の一環として、地震・火災を想定した避難訓練を実施しました。地域在住の防災士の方よりご指導をいただき具体的に「命を守る行動」として何ができるかを考え日々 万一の災害発生時に備えること大切さについて学ぶことができました。

2. 学力向上に向けた取組

地域在住の元学校教員の方を講師に招いて「学力補充教室」を開催しました。「数学」の学力向上を目的として、教員2名とともにティームティーチングや少人数指導によるきめ細やかな学習指導により、基礎学力向上を図りました。

今年度から「英検対策講座」を実施しました。校区内の高校と協働し、放課後に学習会を実施し、学習する意欲の高まりがみられました。

地域に関わっていただいている方に自分の思うように書を楽しむ「己書体験幸座」を行いました。

3. 伝統・文化理解教育への取組

「保健体育」カリキュラムや「総合的な学習の時間」における伝統文化理解の取組として、[エイサー学習(沖縄民謡・舞踊)]を行いました。

また、「雅楽鑑賞」にも取り組みました。多様な学習への発展や「伝統に対する感性」を培うための貴重な学びの機会となりました。



【今年度のまとめ】

今年度は、感染症対策の影響から、運営委員会の事業に関して、年度当初の計画から大幅に変更せざるを得ない状況でありましたが、地域の方々のご協力・ご支援をいただきながら、新たな事業にも取り組むことができました。

【来年度に向けて】

来年度においても、新型コロナウイルス感染症への対策を十分に講じながら、事業を精査・精選し、効率的・効果的に推進していきたいと考えます。

めざす子ども像

ふるさとでの学びを誇りに

たくましく未来を切り拓く 都祁の子

取組目標

地域や地域の人から学ぶ学習を通して、何事にも粘り強く取り組み、自分たちの住む地域をよりよい地域にするために何ができるのかを考えられる力を育成する。

【今年度の取組紹介】

○森の学校

今年度も校区内にある奈良県立野外活動センターで森の学校を実施しました。

午前中は縦割り班でのセンター敷地内のオリエンテーリング、午後からは各学年で体験学習を行いました。地域の方が準備してくださったもみ殻と一緒に焼き芋を作ったり大豆から仕込んで味噌づくりに取り組んだりする等、昨年度同様に豊かな体験学習に取り組むことができました。

また、今年度は6年生がCanon株式会社さんから一人1台カメラをお借りして、センター敷地内の秋の様子を写真撮影しました。カメラの使い方は前日にオンラインでCanonの方に教えていただき、当日は奈良市写真美術館のスタッフの方々に写真撮影のポイントを教えていただきました。撮影した写真は、後日奈良市写真美術館のギャラリーに展示していただきました。



【今年度のまとめ】

子どもの暮らしや地域を活動の軸に、人とのかかわりを大切にして活動に取り組んできました。コロナ禍で予定していた活動の実施回数が少なくなりましたが、地域の方の協力のおかげで子どもの心に残る活動ができました。【今年度の取組紹介】で紹介した「森の学校」以外にも、蚕の学習や凍り豆腐作りなど都祁地域ならではの学習を地域の方々と教職員で企画しました。子どもは多くの新しい発見と出会い、地域の歴史や生活を実感することができました。

【来年度に向けて】

今年度同様、子どもの暮らしや地域の人、歴史、文化、自然等を活動の軸に据えて、人とのかかわりを大切にした活動を行いたいと思います。来年度もコロナ禍での実施で臨機応変な対応が必要になると思いますが、子どもにとっては学びがあり、地域の方々にとってはやりがいがある活動を地域と学校が連携して考えていきたいと思っています。

めざす子ども像

ふるさとでの学びを誇りに

たくましく未来を切り拓く 都祁の子

取組目標

地域とのつながりを感じながら、心豊かで、
生き生きと生活する子どもの育成

【今年度の取組紹介】

○文化体験事業で地域のお花の先生に来ていただき、生け花体験をしました。ペットボトルで花瓶をつかって準備をし、「生け花の先生来てくれるの嬉しい」と楽しみにしていました。先生方に挨拶をし、先生から花の名前や「背の高い花、中くらいの花、背の低い花をバランスよく生けてみましょう」と生け方を教えてもらいました。子ども達はたくさんの花の中から花を選び、先生に教えてもらったことを思い返しながら自由に生けたり、花の配置を考えながら生けたりしていました。出来上がった花を友達と見せ合ったり先生に見てもらったりし、満足そうでした。伝統文化に触れ、心も豊かになる機会となりました。



○文化体験事業で地域の剣道クラブの方に来ていただき、剣道体験をしました。まず、子ども達は正座をして礼儀正しく「礼」をしました。剣道を通して大切にしていることなどの話を聞き、剣道の防具を見せてもらった後、新聞切りや防具を付けた先生に面やこてを打つ体験をしました。剣道の先生方の迫力ある打ち込みを間近で見せてもらい、子ども達は息をのんで見入っていました。そして自然と拍手が起きました。最後は「礼」をして終わりました。立ち振る舞いや礼儀の大切さなどを知る体験になりました。



【今年度のまとめ】

コロナ禍で交流内容や方法などを精選し、活動を継続しました。地域の方と触れ合うことを楽しみにし、貴重な経験を重ねることができました。菜園活動やおはなしのひろば、剣道体験や生け花体験等様々な活動ができ、活動の前には子ども達と準備をすることで、より深い交流や学びになりました。地域の方に褒めてもらったり、「一緒に活動できて嬉しいよ」と温かい言葉をかけてもらったりすることが喜びになり、「心豊かで、生き生きと生活する子どもの育成」に繋がっています。

【来年度に向けて】

地域の方々の協力をいただきながら、地域の方と繋がりを感じ、「心豊かで生き生きとたくましく活動する子ども」を目指して、地域・園・家庭が一体となり取り組んでいけるよう、相互の連携を深め、様々な感動体験ができるよう取り組んでいきたいと思います。